

2024 ピースアクション in ナガサキ 同時開催 ②

東京大学渡邊研究室 × 長崎県生協連 × 日本生協連 企画
国連原爆パネル展 開催

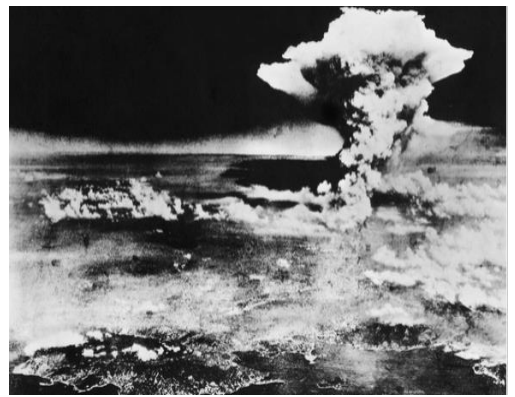
—昨年8月、第10回NPT再検討会議にあわせてニューヨーク国連本部で展示された「国連原爆展」を2024年8月5日（月）～8日（木）午前中まで長崎市役所2階多目的スペースで開催します。

また、東京大学大学院渡邊英徳教授による講演「ミライの平和活動」を合同開催し、テクノロジーを使った新しい形の平和発信コンテンツを紹介します。ぜひご参加ください。

「国連原爆展」は、2022年8月にNPT再検討会議にあわせて、日本被団協がニューヨーク国連本部にて展示したものです。今回、現地ニューヨークで話題となった大型パネルを被爆地ナガサキで展示します。

原爆投下後の長崎の様子や、被爆の実相、核兵器の廃絶に向けて被爆者が行なってきた活動などが紹介されたパネルです。

ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナの紛争により、核兵器使用の現実味が一気に高まっている今こそ、被爆者や市民の核兵器廃絶への強い思いを広く伝えます。



【企画概要】

- 主催 : 東京大学渡邊研究室、長崎県生活協同組合連合会、日本生活協同組合連合会
- 期間 : 8月5日（月）～7日（水）10:00～19:00（予定）
8月8日（木） 10:00～11:30
- 会場 : 長崎市役所2階 多目的スペース
長崎県長崎市魚の町4-1（2階）



2 市民利用会議室・多目的スペース



長崎

広島への投下から3日後、1945年8月9日午前11時2分、2発目の原子爆弾が、長崎に投下されました。この爆弾はプルトニウム爆弾で広島に投下されたウラン爆弾より強力な爆弾でした。しかし、爆発地点は長崎市の中心地から3km離れたため、死者の数は広島より少ない数でした。広島と同様、死者の正確な数は誰にも分かりません。その年の暮れまでに少なくとも7万人もの人々の尊い生命が奪われました。

原爆投下前



原爆投下後



ビキニ水爆実験から原水爆禁止運動へ

原爆投下後の1954年、太平洋上のビキニ環礁で、アメリカが実施した水爆実験により、放射能汚染物の米の戻りが約100年かかる海域で爆発していたマウスの遺伝子も変化した。米政府の放射能被害の深刻さを認め、無罪判決の判決を受けた人々のために起こされた。この事件は原水爆禁止運動に対する市民の関心を高め、各地で起こった原水爆禁止を求める署名運動は、瞬く間に全国に広がり、3000万人以上の署名がなされました。



1954年、太平洋上のビキニ環礁で実施された水爆実験の様子。放射能汚染物の米の戻りが約100年かかる海域で爆発していたマウスの遺伝子も変化した。



1954年、太平洋上のビキニ環礁で実施された水爆実験の様子。放射能汚染物の米の戻りが約100年かかる海域で爆発していたマウスの遺伝子も変化した。

日本被団協結成

自分たちと同じ苦しみを地球上の誰にも経験させたくない。

署名が大半力になって、原水爆禁止世界大会へ、そして原爆投下から11年目の1956年、日本被団協の結成となった。設立時の世界への挨拶にはこう述べている：
「... 私たちは自らを救うと共に、私たちの体験をとおして人類の危機を救おうという決意を貫く。以来、65年間その実現を求め、一日も休むことなく歩んできました。」



1956年、東京で結成された日本被団協の結成式の様子。